

講義名称	子ども家庭福祉	担当教員名	稲岡 隆之
科目群	専門科目 (M) CA1・DI1・DI2		
科目区分等	保育の本質・目的に関する科目 必修	単 位	2
対象学年次	1年・秋学期	ナンバリング	CMEG1103

授業のキーワード	子どもの最善の利益、子どもの権利条約、児童福祉法、児童福祉施設、社会的養護、虐待、子育て支援
授業の概要	児童福祉法で最も大事な「児童を心身ともに健やかに育成する」ために、子ども・家庭・社会が理解しあい、支え合うための見方、考え方、社会の仕組みを学習します。
期待される学習成果 (目標)	保育士として子どもと家庭が抱える問題について、知識として身につけるだけでなく、実際の子どもや親と関わりながら、その状態・状況を理解し、必要な支援を考え、適切な福祉サービスにつなげていけるようにします。

授業展開		
回	テーマ	内 容
1	オリエンテーション、子ども家庭福祉とは	子ども家庭福祉の理念と保育士として目指すものについて学び、考えます。
2	子ども家庭福祉の変化の歴史と、現在の社会	子ども家庭福祉の歴史と現在の社会状況について振り返ってみます。
3	子どもの発達を知る、市町村での健診	保育所入所前から子どもの成長について見ている母子保健の状況について見てみましょう。
4	発達のバラつきや障害、個性と療育について	発達の偏りを個性と捉えるか、障害と見て療育に繋げるか等家族の不安と共に考えます。
5	家庭内の問題と子どもへの影響	貧困、親の養育能力、虐待・DV等家庭が抱える問題と子どもの成長への影響について学びます。
6	子どもの問題行動とその要因	チック、夜尿、暴力、盗み等の問題行動についてその背景や原因について考えてみます。
7	家族を知る	家族を理解する方法について、学び、体験してみます。
8	子どもの権利擁護	子どもの権利条約とその後の社会の変化や私たちが心がけなければならないことを考えてみます。
9	子どもの育ちを支える社会システム	乳児から幼児、少年までの育ちを支える社会の法律や仕組みを学びます。
10	社会的養護と児童福祉施設	家庭で暮らせない社会的養護の子ども達の施設とその現状について学びます。
11	地域で子どもを育てるために (1)	現在の家庭の保育ニーズとその対応について考えます。
12	地域で子どもを産み育てるために (2)	児童虐待・DV家庭等に出会った時、どのように対応したら良いか考えます。
13	地域で子どもを産み育てるために (3)	障害児童や非行児童等に出会った時、どのように対応したら良いか考えます。
14	今後の子どもの家庭福祉について (1)	現在の社会の状況から今後の子ども家庭福祉に求められるものを考えてみます。
15	今後の子どもの家庭福祉について (2)	群馬県の現状と、他の地域や海外の取組等を見て、今後の動向について考えてみます。

定期試験	授業で学習した内容について筆記試験を行います。
授業時間外学習	保育士として働く自分を日常的に意識して、授業に臨んでください。
評価方法	学期末試験70%、毎時の小テスト・レポート提出30%により評価します。
使用する教科書 (必ず購入してください)	「児童の福祉を支える子ども家庭福祉」 吉田眞理著 萌文書林
参考文献	必要なものはその都度授業の中で提示します。